

宮古市「復興に向けた計画づくりに関するアンケート調査」結果 【金浜地域版】

1. 調査概要及び回収状況

(1) 調査概要

調査方法：郵送による配布、回収
 調査期間：【発送】平成23年7月8日 【回答の返送締切】平成23年7月26日
 対象者：被災地域及びその周辺の各世帯
 配布数：【市全体】6,644世帯 【金浜地域】236世帯

(2) 回収状況(平成23年8月16日時点)

回収数：【市全体】3,200世帯 【金浜地域】121世帯
 回収率：【市全体】48.2% 【金浜地域】51.3%

2. 集計結果(金浜地域分)

(1) 回答者の属性

問1：世帯の代表の方についてお聞きします。
 それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

- 世帯の代表の方にお答えいただいたことにより、「男性」、「60歳代」の回答者が多くなっています。また、家族構成は一世代世帯、二世帯世帯がそれぞれ30%以上を占めています。

ア：性別

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
男	2,172	67.9%	84	69.4%
女	814	25.4%	31	25.6%
無回答	214	6.7%	6	5.0%
計	3,200	100.0%	121	100.0%

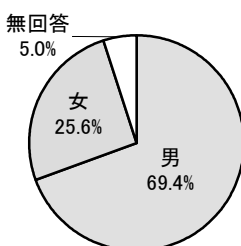
イ：年齢

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	1	0.0%	0	0.0%
20歳代	51	1.6%	3	2.5%
30歳代	218	6.8%	8	6.6%
40歳代	393	12.3%	10	8.3%
50歳代	572	17.9%	30	24.8%
60歳代	875	27.3%	38	31.4%
70歳代以上	1,050	32.8%	32	26.4%
無回答	40	1.3%	0	0.0%
計	3,200	100.0%	121	100.0%

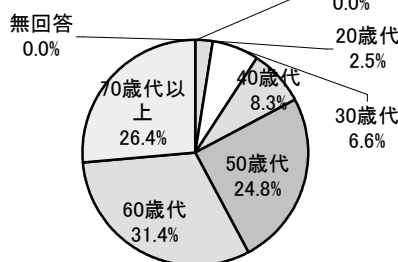
ウ：現在の家族構成

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
単身世帯	592	18.5%	15	12.4%
一世代世帯	786	24.6%	40	33.1%
二世帯世帯	1,142	35.7%	40	33.1%
三世帯世帯	425	13.3%	14	11.6%
その他の世帯	194	6.1%	11	9.1%
無回答	61	1.9%	1	0.8%
計	3,200	100.0%	121	100.0%

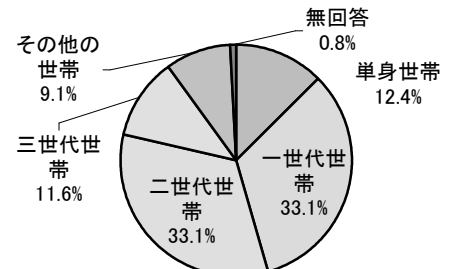
ア：性別(N=121)



イ：年齢(N=121)



ウ：現在の家族構成(N=121)



- 現在のお住まいが震災前とは別の方においては、「仮設住宅」の割合が最も高く、次いで「民間賃貸住宅」が多くなっています。

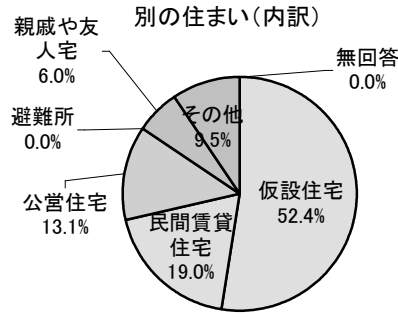
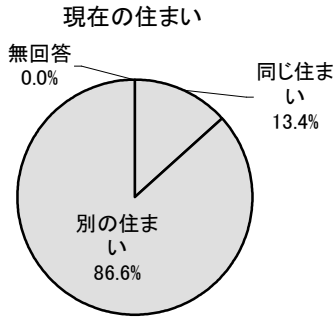
エ：現在の住まい

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ住まい	993	36.8%	13	13.4%
別の住まい	1,672	61.9%	84	86.6%
無回答	35	1.3%	0	0.0%
計	2,700	100.0%	97	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(金浜97人)を対象

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
仮設住宅	793	47.4%	44	52.4%
民間賃貸住宅	368	22.0%	16	19.0%
公営住宅	78	4.7%	11	13.1%
避難所	33	2.0%	0	0.0%
親戚や友人宅	177	10.6%	5	6.0%
その他	214	12.8%	8	9.5%
無回答	9	0.5%	0	0.0%
計	1,672	100.0%	84	100.0%

※[エ]で「別の住まい」と回答した1,672人(金浜84人)を対象



- 震災前に仕事に就いていた方の職業は「製造業・建設業」、「販売・サービス業」が多く、職場については約30%が「金浜」となっています。
- 震災前に仕事に就いていた方のうち、震災後に何らかの変化（休業、廃業、退職、失業）があったと回答した方は、約40%となっています。

オ：震災前の仕事

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業	28	0.9%	2	1.7%
漁業	371	11.6%	10	8.3%
製造業・建設業	447	14.0%	24	19.8%
販売・サービス業	618	19.3%	18	14.9%
公務員・団体職員	280	8.8%	9	7.4%
主婦(夫)	137	4.3%	6	5.0%
学生	1	0.0%	0	0.0%
無職	985	30.8%	38	31.4%
その他	263	8.2%	11	9.1%
無回答	70	2.2%	3	2.5%
計	3,200	100.0%	121	100.0%

カ：震災前の職場の場所

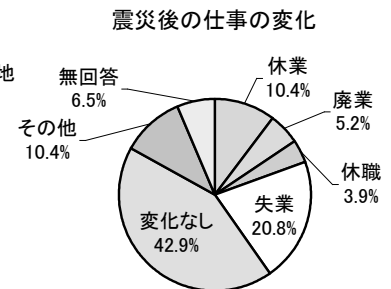
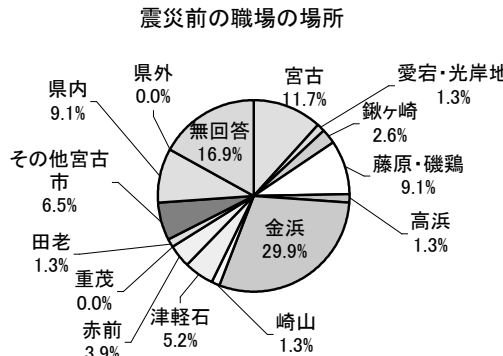
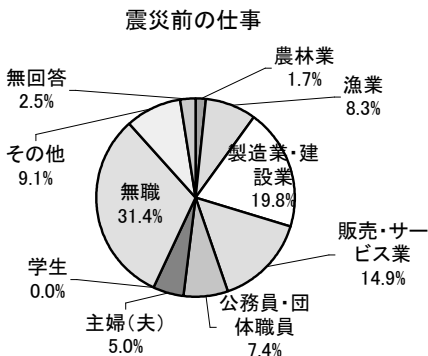
	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
宮古	418	20.1%	9	11.7%
愛宕・光岸地	51	2.5%	1	1.3%
鎌ヶ崎	144	6.9%	2	2.6%
藤原・磯鶏	177	8.5%	7	9.1%
高浜	34	1.6%	1	1.3%
金浜	26	1.3%	23	29.9%
崎山	37	1.8%	1	1.3%
津軽石	78	3.8%	4	5.2%
赤前	66	3.2%	3	3.9%
重茂	59	2.8%	0	0.0%
田老	233	11.2%	1	1.3%
その他宮古市	141	6.8%	5	6.5%
県内	85	4.1%	7	9.1%
県外	43	2.1%	0	0.0%
無回答	486	23.4%	13	16.9%
計	2,078	100.0%	77	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(金浜77人)を対象

キ：震災後の仕事の変化

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
休業	396	19.1%	8	10.4%
廃業	138	6.6%	4	5.2%
退職	99	4.8%	3	3.9%
失業	182	8.8%	16	20.8%
変化なし	895	43.1%	33	42.9%
その他	182	8.8%	8	10.4%
無回答	186	9.0%	5	6.5%
計	2,078	100.0%	77	100.0%

※[オ]の主婦(夫)、無職を除いた
2,078人(金浜77人)を対象



(2) 震災前の住まい、今後の住まいについて

問2：震災前のお住まいについてお聞きします。

それぞれ当てはまる番号を1つ選び○を付けてください。

問3：今後の住まいをどのようにお考えですか。

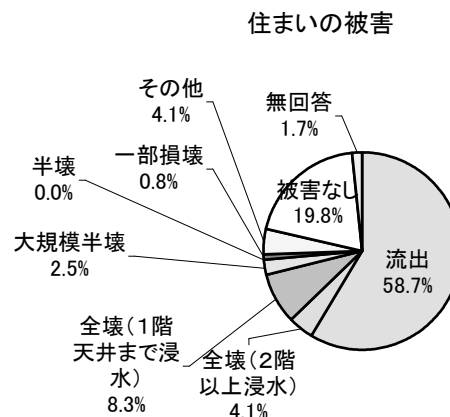
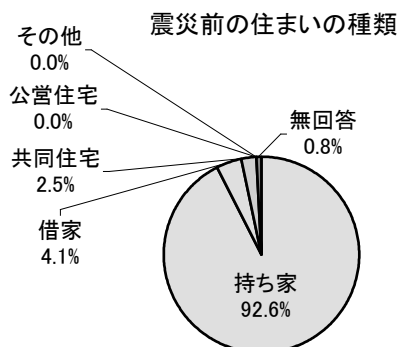
- 震災前の住まいのほとんどが「持ち家」となっています。
- 住まいの被害については、「流出」が回答者の約60%を占めています。
- 今後の住みたい場所については、「近くで津波被害を受けない高台」に住みたいと考えている方が40%以上を占めています。(4ページ)
- 今後の住まいとしては、40%以上が「新築または持家を購入」となっています。(4ページ)
- 住みたい場所の理由は「住み慣れた地域を離れたくない」、「津波被害を受けたくない」が多くなっています。(4ページ)
- 住みたい場所と考えている住まいをクロス集計すると、「近くの高台」で「新築または持家を購入」が最も多くなっています。(4ページ)

ウ:震災前の住まいの種類

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
持ち家	2,639	82.5%	112	92.6%
借家	225	7.0%	5	4.1%
共同住宅	218	6.8%	3	2.5%
公営住宅	26	0.8%	0	0.0%
その他	41	1.3%	0	0.0%
無回答	51	1.6%	1	0.8%
計	3,200	100.0%	121	100.0%

エ:住まいの被害

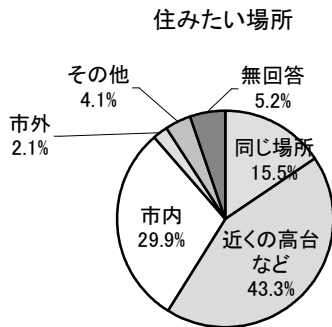
	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
流出	853	26.7%	71	58.7%
全壊(2階以上浸水)	307	9.6%	5	4.1%
全壊(1階天井まで浸水)	524	16.4%	10	8.3%
大規模半壊	408	12.8%	3	2.5%
半壊	305	9.5%	0	0.0%
一部損壊	147	4.6%	1	0.8%
その他	83	2.6%	5	4.1%
被害なし	500	15.6%	24	19.8%
無回答	73	2.3%	2	1.7%
計	3,200	100.0%	121	100.0%



ア-1:住みたい場所

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
同じ場所	990	36.7%	15	15.5%
近くの高台など	753	27.9%	42	43.3%
市内	639	23.7%	29	29.9%
市外	99	3.7%	2	2.1%
その他	72	2.7%	4	4.1%
無回答	147	5.4%	5	5.2%
計	2,700	100.0%	97	100.0%

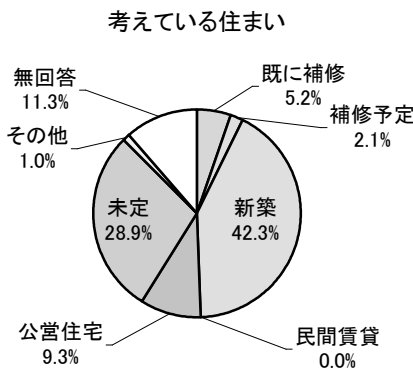
※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(金浜97人)を対象



ア-2:考えている住まい

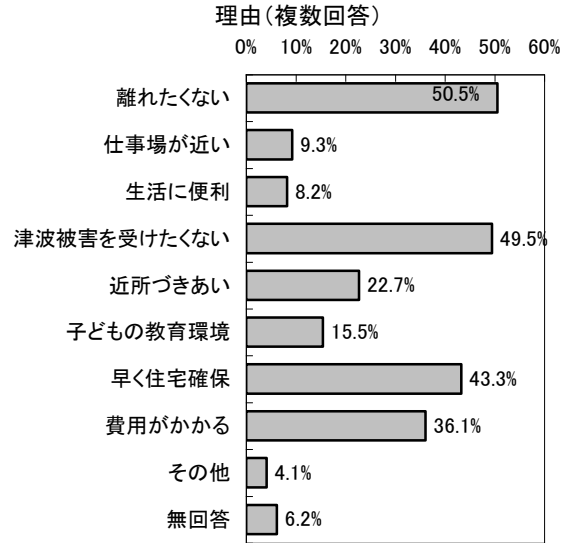
	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
既に補修	488	18.1%	5	5.2%
補修予定	269	10.0%	2	2.1%
新築	811	30.0%	41	42.3%
民間賃貸	89	3.3%	0	0.0%
公営住宅	176	6.5%	9	9.3%
未定	486	18.0%	28	28.9%
その他	82	3.0%	1	1.0%
無回答	299	11.1%	11	11.3%
計	2,700	100.0%	97	100.0%

※[問2エ]の「被害なし」を除いた
2,700人(金浜97人)を対象



イ:理由(複数回答)

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
離れたくない	1,441	53.4%	49	50.5%
仕事場が近い	442	16.4%	9	9.3%
生活に便利	871	32.3%	8	8.2%
津波被害を受けたくない	1,037	38.4%	48	49.5%
近所づきあい	640	23.7%	22	22.7%
子どもの教育環境	229	8.5%	15	15.5%
早く住宅確保	812	30.1%	42	43.3%
費用がかかる	797	29.5%	35	36.1%
その他	121	4.5%	4	4.1%
無回答	143	5.3%	6	6.2%
計	6,533		238	



住みたい場所×考えている住まいのクロス

6. 金浜 住みたい場所	考えている住まい								計
	既に補修	補修予定	新築	民間賃貸	公営住宅	未定	その他	無回答	
同じ場所	4 4.1%	1 1.0%	4 4.1%	0.0%	0.0%	2 2.1%	1 1.0%	3 3.1%	15 15.5%
近くの高台など	1 1.0%	1 1.0%	21 21.6%	0.0%	3 3.1%	13 13.4%	0.0%	3 3.1%	42 43.3%
市内	0.0%	0.0%	15 15.5%	0.0%	5 5.2%	8 8.2%	0.0%	1 1.0%	29 29.9%
市外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2 2.1%	0.0%	0.0%	2 2.1%
その他	0.0%	0.0%	1 1.0%	0.0%	0.0%	3 3.1%	0.0%	0.0%	4 4.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 1.0%	0.0%	0.0%	4 4.1%	5 5.2%
計	5 5.2%	2 2.1%	41 42.3%	0.0%	9 9.3%	28 28.9%	1 1.0%	11 11.3%	97 100.0%

(3) 今後の不安、備えについて

問4：これからの暮らしにおいて、不安なことについてお聞かせください。

問5：あなた自身で、今回の震災をきっかけに今後どのような備えをしたいと思いますか。

- 今後の不安としては、「住宅を確保できるか不安」と「余震や二次災害が不安」が多くなっています。
- 今後の備えとしては、「家族で避難場所、避難ルートの話し合い」、「非常時持出袋等の準備」が多くなっています。

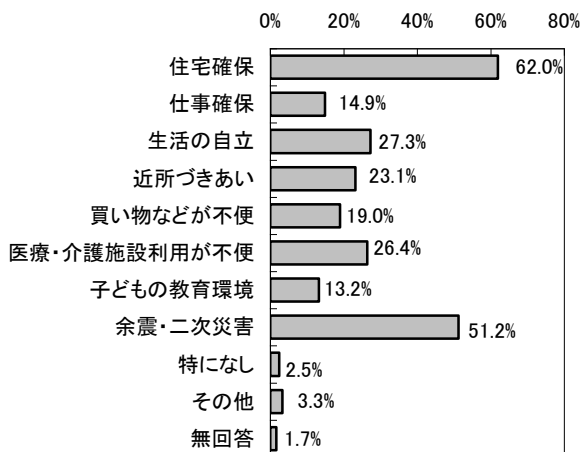
問4:これからの不安(複数回答)

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
住宅確保	1,208	37.8%	75	62.0%
仕事確保	551	17.2%	18	14.9%
生活の自立	947	29.6%	33	27.3%
近所づきあい	526	16.4%	28	23.1%
買い物などが不便	806	25.2%	23	19.0%
医療・介護施設利用が不便	817	25.5%	32	26.4%
子どもの教育環境	310	9.7%	16	13.2%
余震・二次災害	1,705	53.3%	62	51.2%
特になし	154	4.8%	3	2.5%
その他	104	3.3%	4	3.3%
無回答	173	5.4%	2	1.7%
計	7,301		296	

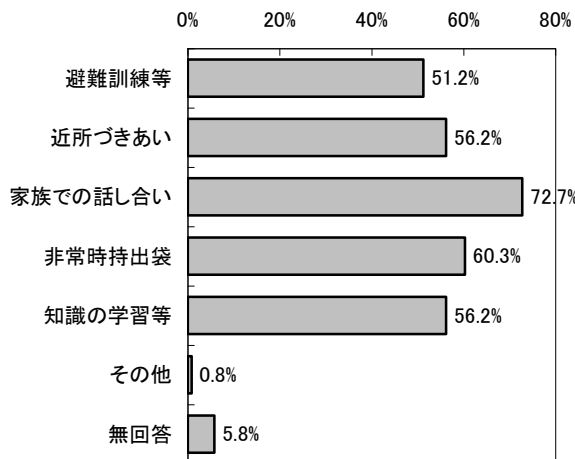
問5:今後の備え(複数回答)

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
避難訓練等	1,298	40.6%	62	51.2%
近所づきあい	1,406	43.9%	68	56.2%
家族での話し合い	2,043	63.8%	88	72.7%
非常時持出袋	1,970	61.6%	73	60.3%
知識の学習等	1,502	46.9%	68	56.2%
その他	128	4.0%	1	0.8%
無回答	333	10.4%	7	5.8%
計	8,680		367	

これからの不安(複数回答)



今後の備え(複数回答)



(4) 復興に向けた今後の施策について

問6：現在、宮古市では復興に向けた計画づくりに向け、次の3つの分野で施策の検討を進めています。「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」それぞれの分野について、大切であると思うことは何ですか。特に、当てはまるもの3つまでの番号を記入してください。また、施策に対するお考えや提案などがありましたらお書きください。

- 「すまいと暮らしの再建」に関しては、半数以上の方が、「住宅再建への支援」と「経済的な支援など生活再建に向けた取り組み」を選択しています。

- 「産業・経済復興」に関しては、「(生産施設の復旧、生産者支援、地産地消等の) 農林業の振興」と「(施設の復旧、生産者支援、魚市場整備等の) 漁業振興」が多く回答されています。
- 「安全な地域づくり」に関しては、「(道路や公共交通の再整備など災害に強い) 交通網の形成に向けた取り組み」と「防潮堤や湾口防波堤等のハード整備に向けた取り組み」が多くなっており、ハード整備の取り組みが求められています。

ア: すまいと暮らしの再建(複数回答)

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
経済的な支援等	1,706	53.3%	64	52.9%
住宅再建支援	1,717	53.7%	81	66.9%
健康の維持	443	13.8%	16	13.2%
医療体制の確保	1,067	33.3%	36	29.8%
児童・生徒の心のケア	239	7.5%	20	16.5%
学校教育環境の整備	370	11.6%	13	10.7%
生涯学習等の環境整備	137	4.3%	4	3.3%
雇用の場の確保	1,139	35.6%	40	33.1%
地域コミュニティ	421	13.2%	22	18.2%
無回答	433	13.5%	11	9.1%
計	7,672		307	

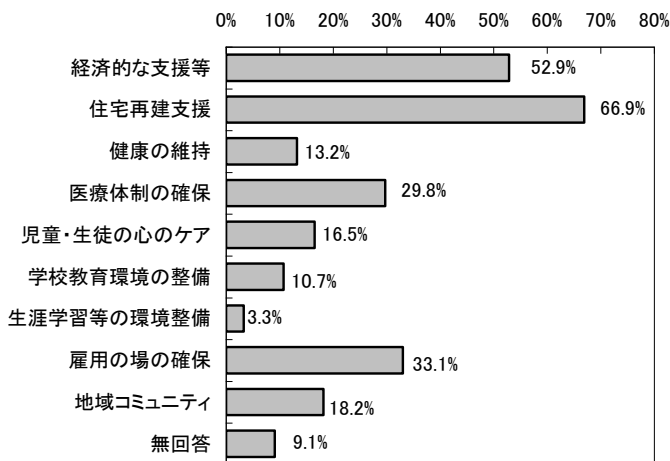
イ: 産業・経済復興(複数回答)

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
農林業振興	967	30.2%	47	38.8%
漁業振興	1,522	47.6%	45	37.2%
製造業振興	815	25.5%	42	34.7%
商業・サービス業振興	881	27.5%	29	24.0%
観光振興	467	14.6%	18	14.9%
港湾振興	489	15.3%	13	10.7%
産業創出	689	21.5%	22	18.2%
事業創出	438	13.7%	22	18.2%
無回答	746	23.3%	26	21.5%
計	7,014		264	

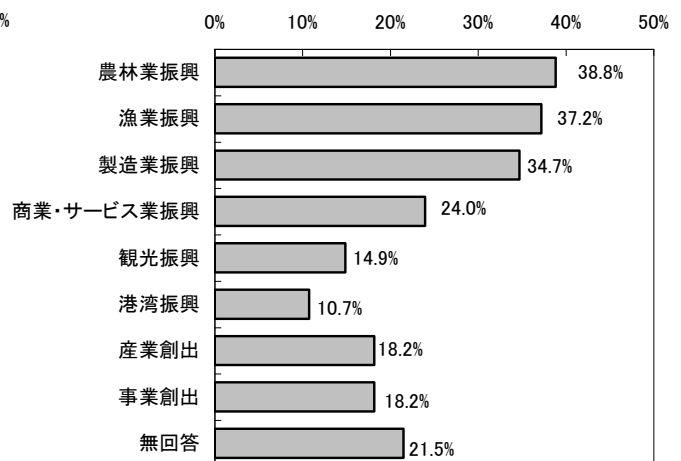
ウ: 安全な地域づくり(複数回答)

	全体		金浜	
	回答数	割合	回答数	割合
防波堤等	1,838	57.4%	73	60.3%
交通網整備	1,717	53.7%	78	64.5%
土木施設復旧	1,361	42.5%	41	33.9%
地域防災力	444	13.9%	16	13.2%
情報伝達・避難計画	872	27.3%	36	29.8%
災害記憶継承	277	8.7%	12	9.9%
自然エネルギー	545	17.0%	20	16.5%
無回答	515	16.1%	18	14.9%
計	7,569		294	

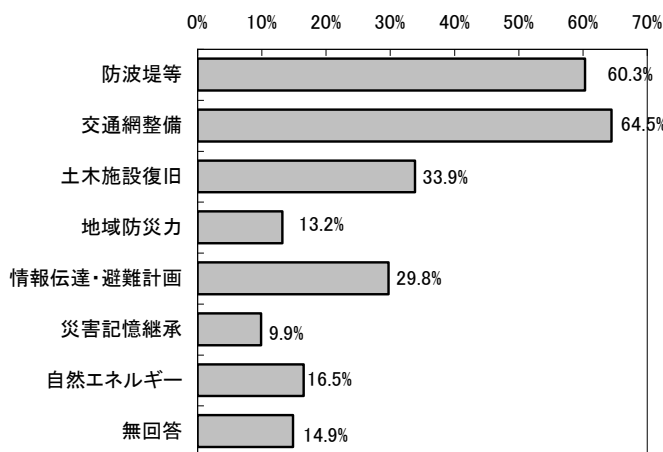
すまいと暮らしの再建(複数回答)



産業・経済復興(複数回答)



安全な地域づくり(複数回答)



■ 主な自由意見（原文要約）

- ・ すまいと暮らしの再建に関して、「住宅を建てるための資金に関する不安」、「高齢者も安心して暮らせる住宅や地域づくり」などについての意見があります。
- ・ 産業・経済復興に関して、「漁業の発展」、「農業分野での雇用の確保」などについての意見があります。
- ・ 安全な地域づくりに関して、「避難するための道路や避難場所の確保」「防災訓練や防災無線のありかた」などについての意見があります。
- ・ その他として、「コミュニティ形成への支援」などについての意見があります。

すまいと暮らしの再建について	
1	住まいを確保していかななくてはならないのに、どのように再建していったら良いのか迷っている。
2	今後、新たに家を購入する際の資金面が不安。
3	被災した家屋でも、リフォームして住めるのであれば経済的負担は軽くなるので、一斉に建築制限はかけられないのではないかな。
4	年金生活の高齢者も安心して住める公営住宅を整備してほしい。
5	家も車もまだローンが残っているので、二重ローンにならないようにしてほしい。
6	被災者には高齢者も多いので、見守り隊などで、あたたかい支援が必要。
7	早く働ける場所を作ってほしい。先のことを思うと不安で仕方がない。
8	1人で子育てをしている人でも働ける場所を増やしてもらいたい。
9	子どもたちの心のケアにつとめ、これをバネに強く生きていける子供達に育てていくことも大切。
10	今回の災害でケガをしたが医療体制が全く悪く、医療体制が充実しないといけないと実感した。
11	バス停が遠く、病院や買い物へ行くのを我慢している方が多数いる。近くまでバスを通してほしい。
産業・経済復興について	
1	漁業での発展は、観光など多角的に波及すると思われる。特区を利用した企業誘致などを取り入れてほしい。
2	今まで通りではなく、漁業、海産物、観光を織り交ぜた大きなプロジェクトを考えてほしい。
3	被災した土地を田や畑にして、民間企業が参加する大型農業で雇用を確保してはどうか。
4	国道45号、106号を整備し、災害に強い道にして商店が集まりやすくすれば良い。
安全な地域づくりについて	
1	金浜～津軽石馬越までの道路を津波避難道路として緊急車両も通行可能に整備してほしい。
2	金浜から短大へ向かう道路をもう少し広く安全なものにしてほしい。
3	通学路と車道をきちんと分けてほしい。
4	浸水区域には救援物資を備えた避難場所となるビルが必要。
5	公民館、集会所、コミュニティ会館などは1つの建物に統合し、避難場所として利用できるように設備も整えてはどうか。
6	山田線の下を通るトンネルが狭いため、開発ができない。
7	宮古道路の山側の山を崩し宅地を造成することで、被災者の宅地にできないか。
8	地域の各組織が全く機能せず、日常訓練も役にたたなかったのではないかな。
9	防災無線が聞こえない地域があるので、全地域で聞こえるようにしてほしい。
10	被災地は、ソーラーパネルや風車のある発電基地にしたり、被災記念公園とし防災意識につなげるようにしたら良いのではないかな。
その他	
1	住民側の満足を重視して宮古市を進化させて欲しい。50年後に日本中から見学に来てもらえるような震災に強いまちづくりをしてほしい。
2	仮設住宅でも何年間か住むことになるので、コミュニティを作れるよう支援してほしい。
3	文化的活動をする場所が少なくなっているので確保してほしい。

MEMO

A large rectangular area with rounded corners, containing numerous horizontal dashed lines for writing.